



確かに、みんな同じ時に、同じ場所で、同じものを描いていたはずなのに、色も、形も、みんな違う。それが「個性」っていうのかな。それって凄くすてきだね。凄く大切なことだね。ついでに美味しい時の顔もみんな違う。でも顔を見れば、「おいしいんだな」ってわかっちゃう。不思議だけど、みんなを感じながら生きる世界ってとってもカラフルでいいなあ...



やって来ては帰ってゆく

秋がほんのりはじまって
アケビとろうね
サルナシとろうね
と おさんぽに出かけました
アケビやサルナシが
盛られるはずだったザルに
ヤマアカガエルが 乗っかって
サヨナラ またね と
たお君のしている前で
森へ帰ってゆこうとしています
ずっとちゃんと 見られるのではなく
自分から離れてゆくのをしているのが
いいなあと思います
その後で 言葉が生まれるのが
いいなあと思うのです 小西 貴士

